

当別町の概要

◆ 概観



「当別町章」

当別町は北海道最大の都市札幌市と隣接し、札幌都心部からＪＲで約 35 分、車で約 45 分の札幌圏域に位置しています。明治 4 年、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が家臣共々移住し、苦難の開拓の歴史が始まりました。人々の開拓の努力は、明治 35 年頃には札幌支庁管内(当時)で最も豊かな農村へと発展し、農業を基幹産業とした本町の礎が築かれました。現在では、管内有数の米の生産量を誇っています。

また、切り花の生産が盛んで、道内屈指の生産額となっています。近年は、札幌市や江別市という産業集積地の隣地であり、石狩湾新港と新千歳空港とを結ぶ交通の要衝であること、昭和 63 年の札幌大橋開通や JR 学園都市線の増便などから宅地造成がなされ、札幌近郊の田園都市として発展しています。国道 337 号沿いには、平成 29 年 9 月に「北欧の風 道の駅とうべつ」がオープンしました。また令和 4 年 3 月に、道内在来線に 20 年ぶりの新駅として「ロイズタウン駅」が開設されました。

さらに、風景が酷似していると言われるスウェーデン王国・レクサンド市との姉妹都市提携をメインとした積極的な国際交流の町として、大きな飛躍が期待されています。

◆ 町名の由来

当別はアイヌ語「トウベツ」（沼から来る川の意）からでたもの。

◆ 地勢・面積

総面積は 422.86 平方キロメートル。東西に 26 キロメートル、南北に 47 キロメートルに広がっています。

◆ 人口・世帯数 （令和 6 年 4 月 1 日現在）

15,230 人、7,774 世帯

◆ 町の木・花・鳥

木／白樺、花／カスミ草、鳥／フクロウ

◆ 主なイベント

夏至祭、北海道亜麻まつり in 当別、とうべつ花火大会、当別神社例大祭、とうべつさわやか駅伝、当別スウェーデンマラソン、あそ雪の広場